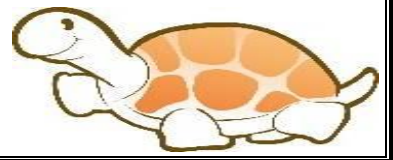




のこのこたより



令和5年1月 第93号

社会福祉法人見宝会
特別養護老人ホームあじさい園 宝

住所：奈良市南肘塚町99番1
電話：0742-24-0878 fax：0742-23-0373

あけましておめでとうございます

「2112年ドラえもん誕生」によれば、ドラえもんは、2112年9月3日、トーキョーにあるマツシバロボット工場で誕生しました。ドラえもんは、実は人間の子守り用として開発されたネコ型ロボットです。そして、22世紀の野比家でのび太の孫の孫であるセツ子の子守りをしています。クリスマスの日、ドラえもんは、ロボット養成学校校長の寺尾台博士より、新しい四次元ポケットのプレゼントを受けとります。その晩、ドラえもんは、タイムマシンに乗って「セツ子が幸せに暮らせるように最もできの悪い、ご先祖様の歴史を修正する旅」に出かけます。

ドラえもんは、はるばる22世紀の世界からタイムマシンに乗って20世紀の野比家に派遣されるころから「ドラえもん」物語は始まります。「ご存知のとおり、ドラえもんのひみつ道具は、あらゆる問題に対してうまく機能し、スムーズな解決への期待を抱かせますが、最後はひみつ道具を使用しても問題解決にはつながらない結果となります。つまりドラえもんの基本スタンスは「ひみつ道具に頼らず、自立で問題解決に対処することがベストである」ことです。のび太にとってひみつ道具とはあくまでも自分のいいところを伸ばしたり、少し足りない何かを後押ししたり、潜在意識の中で眠っている優しい心を呼び覚ましたりする、きっかけのような存在です。

のび太との結婚前日、不安を口にしたりしずかちゃんに対し、しずかちゃんのパパは「のび太君を選んだ君の判断は正しい。のび太君は人の幸せを願い、人の不幸を悲しむことのできる人だ。それが一番人間にとって大事なことだからね。」多くの困難を乗り越えて真の優しさや思いやりを身につけたのび太は、あこがれ続けたマドンナしずかちゃんを射止め幸せな結婚生活を送ります。

あなたのおそばにも私のそばにも、それぞれのドラえもんのひみつ道具がある気がいたします。その力を借りて人生の困難を乗り越えて2023年、笑顔で過ごせますように。

皆様、旧年中は大変お世話になりました。今年もよろしくお願いたします。



今年の夏は、気候に恵まれず、さつまいもがあまり収穫できませんでした。そんな中でもご利用者様に召し上がっていただきたく、さつまいもご飯として夕食メニューにさせていただきました。「とても甘くて美味しいわ」あちらこちらからお喜びの声がして、ユニットの中はほっこりしました。

今年も、宝の畑にたくさんの大根とみかんが実りました。大根は柔らかくて甘みがあって美味しいと評判です。みかんは、散歩の時にもぎたてを召し上がってもらっています。「新鮮で甘くて美味しい」と人気です。



園庭の山茶花が咲き始めました。鮮やかなピンク色の花は、冬の寒さを吹き飛ばしてくれそうです。



大きな美味しい富有柿をたくさんいただきました。ご利用者様には夕食のデザートに召し上がっていただき、とてもお喜びいただきました。



スタッフさんの手作りのクリスマスの飾りに囲まれて賑やかです。ユニット中はすっかりクリスマス気分です。



新年あけましておめでとうございます。いつもご協力、ご支援ありがとうございます。敷地内工事のため近隣の皆様にご迷惑をおかけしております。新型コロナウイルスの影響により、1月は園内行事のみとさせていただきます。

散歩の帰りにクリスマスツリーの前で写真撮影！童心にかえて、にっこりといふ笑顔をしてくださいました。



第69回 口内炎について

口内炎はどうしてできるの？

しみたり、痛みが出る口内炎。実は、何が原因でできてしまうのかハッキリと説明されていません。一般的には、ストレスや疲れによる免疫力の低下、睡眠不足、栄養不足などが原因と考えられています。とくに**ビタミンBが不足すると、口内炎はできやすい**と考えられています。ひとくちに「口内炎」といっても、大きく4種類に分けられ、症状が異なります。

アフタ性口内炎

一般的な口内炎で表面が白、または黄色の膜で覆われている健康な粘膜との境界線がハッキリとわかる口内炎です。できやすい箇所は、頬の内側や舌、唇の裏側や歯茎などです。悪化すると痛みがあり、食べ物がしみます。通常1~2週間程度で自然に治りますが、繰り返してできるものは「再発性アフタ性口内炎」と呼ばれます。

ヘルペス性口内炎

口内だけでなく、唇の外側にもできる口内炎。ヘルペスウイルスに感染することで症状が現れます。感染した場合、潜伏期間を経て場合によっては発疹や高熱、さらにリンパの腫れといった症状も出ます。ヘルペスウイルスは、口内炎が治ってからでも体内に潜伏し免疫力を下げるので、疲れを感じやすくなったり、口内炎が再発しやすくなります。

カンジダ性口内炎

口内でカンジダというカビが増えて、悪化すると舌のしびれや味覚異常を発症する口内炎。赤ちゃんにも発症する危険性があるので注意が必要です。

カタル性口内炎

口内が炎症し、赤く腫れて熱を持つ口内炎。炎症の他、斑点、水疱、ひび割れなどが現れる場合もあります。炎症が強い場合は、表面が白くなり、唾液が粘っこく変化し口臭が気になることも増えます。腫れにより味覚が鈍るのも特徴のひとつです。

もし口内炎の症状が見られるようであれば、お近くの歯科医院に相談して、適切な処置を受けましょう。長引く口内炎の場合は、口腔癌の可能性もあるので、注意が必要です。

☆口内炎にはレーザー治療も有効

口内炎は自然に治癒するものもありますが、しばらくたっても治らない、痛みが引かない場合は、歯科医院を受診しましょう。レーザーで患部を焼いたり、薬を塗るなどの治療が可能です。**口内炎ができたばかりのときは、痛みを感じても歯磨きは怠らないようにしましょう。**痛いからといって歯磨きをサボると、口内で細菌が繁殖し、炎症がひどくなります。このとき、アルコール入りのマウスウォッシュを使用するとしみるので、アルコールが入っていない低刺激タイプを選ぶことをおすすめします。

